

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年10月24日（月）～10月30日（日）〔平成23年第43週〕の感染症発生状況

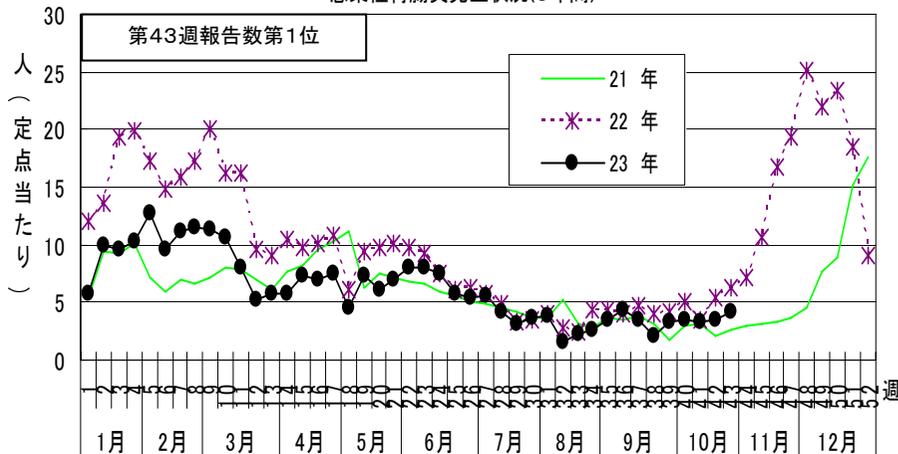
第43週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり4.27人と前週（3.55）より患者報告数は増加していますが、例年に比べると低いレベルで推移しています。

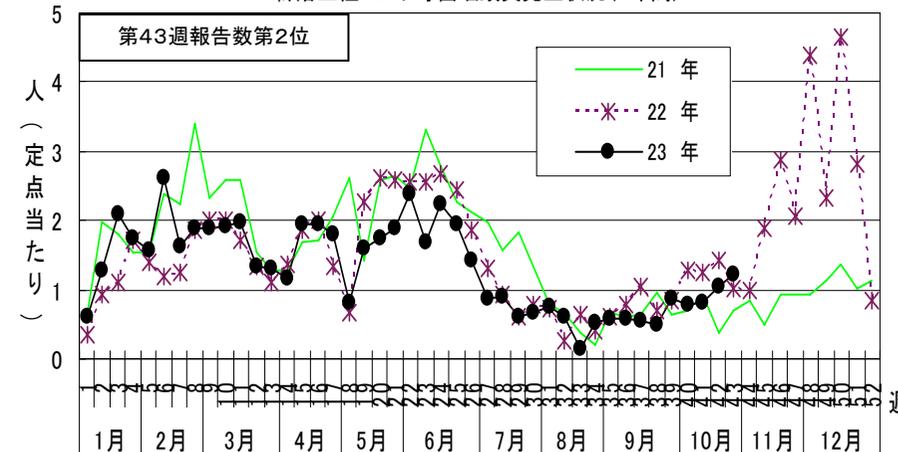
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.21人と前週（1.06）より患者報告数はやや増加しており、特に宮前区（定点当たり4.60人）で報告が多くなっています。

水痘は定点当たり1.12人と前週（1.12）から横ばいとなっていますが、高津区（定点当たり4.40人）で報告が多くなっています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



ご存知ですか！？『咳エチケット』～感染を広げない心配り～

これから冬にかけて、インフルエンザを中心とする「咳やくしゃみなど（飛沫）で感染が拡大する感染症」が流行することが推測されます。そのため、自分が感染しないように予防接種を受けることなども大切ですが、自分が患者になったときに他人に感染させないように「咳エチケット」などを実践することも大切です。

## 咳エチケットを実践しよう！！

- 咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻をおおい、他の人から顔をそむけ、できる限り1～2メートル以上離れましょう。ティッシュがない場合は、口を腕でおさえて、極力、飛沫が飛び散らないようにしましょう。手でなく腕で押さえるのは、他の場所に触れることが少ないため、接触感染の機会を減らすことができます。
- 呼吸器系分泌物（鼻汁・痰など）を含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳やくしゃみをする際に押さえた腕や手は、その後直ちに洗いますが、接触感染の原因にならないよう、手を洗う前に不必要に周囲に触れないよう注意しましょう。手を洗う場所がないことに備えて、携行できる消毒用アルコール製剤あるいはパック入りのアルコール綿などを用意しておくといいでしょう。
- 咳をしている人にマスクの着用を積極的にすすめましょう。マスクを適切に着用することによって、飛沫の拡散を防ぐことができます。

